

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は卒研生または卒業生

学会名	第56回日本植物生理学会
演題名	シロイヌナズナ切断花茎における遺伝子発現に対するジャスモン酸の影響
発表者	○ <u>松岡啓太</u> 、 <u>湯本絵美</u> 、 <u>奥川大樹</u> ※、 <u>齋藤朴</u> ※、 <u>中原陽平</u> ※、 <u>横田孝雄</u> 、 <u>山根久和</u> 、 <u>佐藤忍</u> 、 <u>朝比奈雅志</u> （※H26年度卒研生）（植物生理学研究室）
内容	<p>これまでに我々は、シロイヌナズナ切断花茎の組織癒合に必須な2種類の転写因子を同定し、これらの転写因子の発現が、植物ホルモンによって制御されていることを示している。本研究では、シロイヌナズナ花茎切断処理による植物ホルモンの内生量の変化と遺伝子発現への関与について検討した。その結果、シロイヌナズナ花茎の切断部位におけるJA内生量は切断後30分以内に上昇し、3時間以降は減少することなどが判明した。これらの結果は、H26年度の卒業研究、及び学内外共同研究によって得られたものである。</p>
関連画像	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">植物ホルモンを抽出している様子</p>